

# 苫小牧市総合戦略推進会議

平成28年度第1回会議資料

2016年6月8日

# 苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略（概要）

## 人口ビジョン H27 (2015) ~ H72 (2060)

### 【人口減少の現状(国立社会保障・人口問題研究所の推計)】

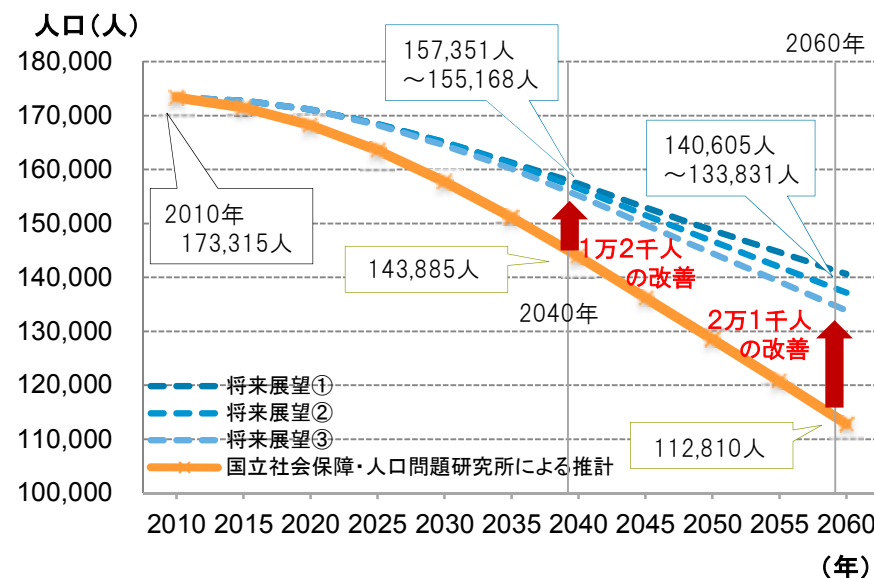
- ◆ 平成22(2010)年に17万3千人であった本市の人口は
  - ⇒ 平成52(2040)年には、14万4千人となり、約3万人の減少
  - 平成72(2060)年には、11万3千人となり、約6万人の減少

### 【本市の課題と方向性】

- ◆ 就職時期の若年世代の転出超過が目立つ。主な転出先は、札幌市や首都圏である。
  - ⇒ 市内の雇用環境を維持・向上、市内の住みやすさを改善し、札幌市をはじめとする若年層の転出を抑制する。
- ◆ 現在の合計特殊出生率を維持しても人口は増えない。若い女性人口は減少傾向にある。出生数が増えない主な理由は、子育ての経済的負担である。
  - ⇒ 子育て・教育しやすい環境を整備し、子育ての経済的負担感を減らすことで、結婚・子育て世代(特に女性)の転入を増やし、合計特殊出生率を向上させる。
- ◆ 活気がない、交通利便性が悪い、PRするものがないといった声上がるなど、地域コミュニティの活性化や生活利便性が向上といった生活環境の改善が課題である。
  - ⇒ 生活環境を改善、苫小牧市での暮らしのメリットをPRすることで、交流人口やUJターンを増加させる。
- ◆ 今までの人口の維持は、製造業などの企業誘致の影響が大きく、人口減少局面をむかえる中で、さらなる競争力向上が必要である。
  - ⇒ 国際的な競争力を持つ市として、誘致活動を充実させ、企業誘致をはじめ、民間投資を呼び込む。

### 【人口の長期展望】

- ◆ 自然動態
  - 合計特殊出生率を段階的に引き上げる。(2040年までに1.8~2.07)
- ◆ 社会動態
  - 各世代の転入転出を均衡させる。
  - さらに、20代、30代については、1%の転入超過を目指す。



### ◆ 人口の将来展望

- 平成52(2040)年に、約15万人を維持する。  
(1万2千人の減少幅を改善)
- 平成72(2060)年に、約13万人を維持する。  
(2万1千人の減少幅を改善)

基本目標 1 地元企業と学生との“つながり”を強化し、地元雇用拡大を実現

【数値目標】

新規雇用創出数  
実績値 — ⇒ 目標値(2019) 延べ300人

管内学生の管内事業所就職割合  
実績値(2014) 53.49% ⇒ 目標値(2019) 60%

【具体的な施策】

- 若者の市内就職の促進
- 学生と地元企業との交流・連携機会の創出
- 苦小牧における起業促進

基本目標 3 地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進

【数値目標】

転入者数  
実績値(2014) 5,958人 ⇒ 目標値(2019) 6,500人

観光入込客数  
実績値(2014) 186万人 ⇒ 目標値(2019) 218万人

「苦小牧は住みやすい」と回答した人の割合  
実績値(2015) 23.3% ⇒ 目標値(2019) 30.0%

【具体的な施策】

- 苦小牧出身者への継続的な情報発信の拡充
- 移住・定住者の受け入れ体制の充実
- とまこまいライフスタイルの確立
- 縁結びコーディネート機能の設置
- 郷土の魅力を伝える活動の推進

基本目標 2 子育てしながら仕事を続けられる社会環境の整備

【数値目標】

合計特殊出生率  
実績値(2008～2012) 1.51 ⇒ 目標値(2019) 1.60

子育て環境や支援の満足度(5段階評価)  
実績値(2013) 2.80 ⇒ 目標値(2019) 3.3

子育て世代の女性の労働力率  
実績値(2010) 62.2% ⇒ 目標値(2019) 66.7%

【具体的な施策】

- ワーキングマザー＆ファザーの子育て応援
- 子育て支援・保育サービスの充実
- 苦小牧の地域資源を活かした体験学習の推進

基本目標 4 産業競争力を高め、地域ブランド力を向上

【数値目標】

新規企業進出件数(5年間累計)  
実績値 — ⇒ 目標値(2019) 20件

広域連携による共同事業の新規実施件数  
実績値 — ⇒ 目標値(2019) 延べ10件

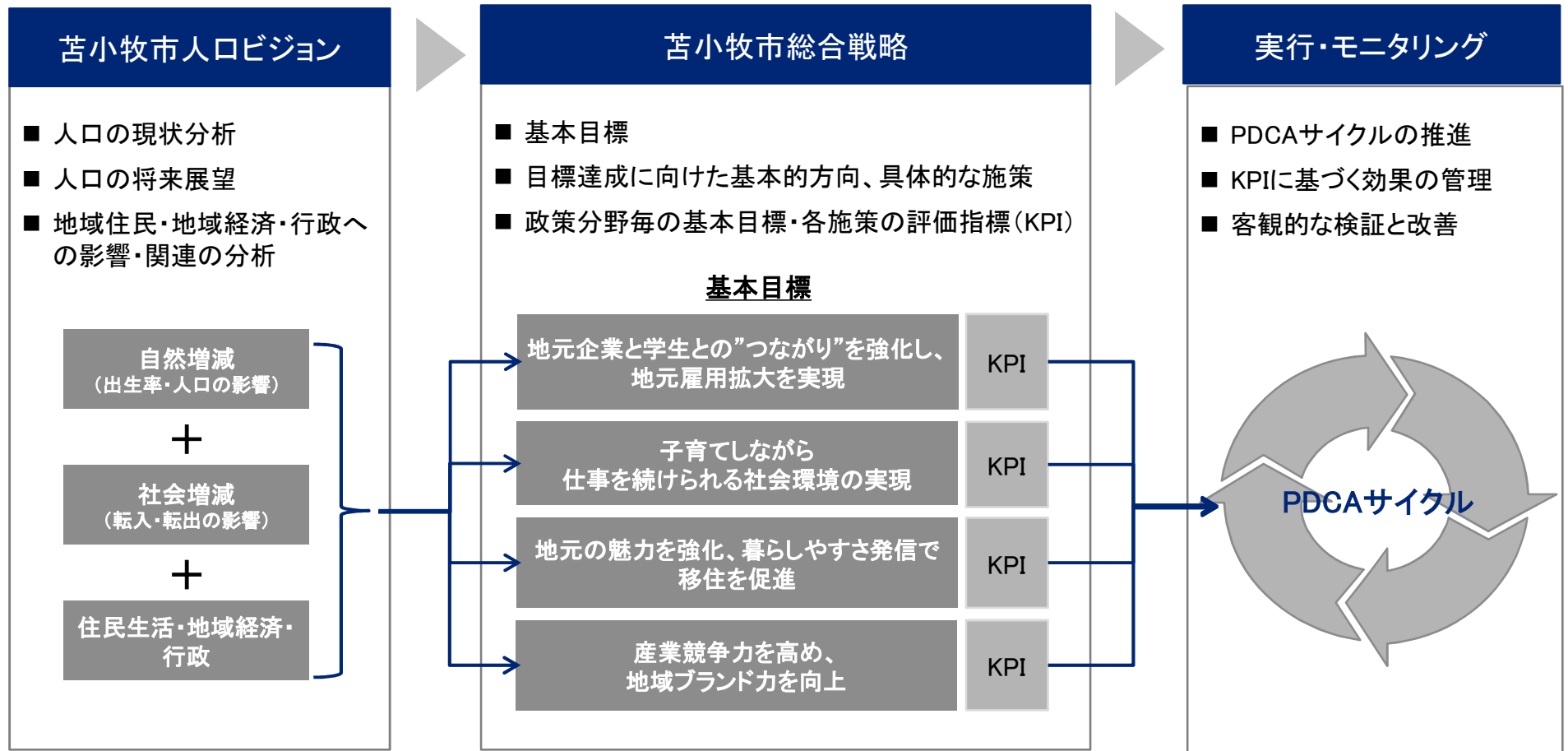
【具体的な施策】

- 立地企業への支援強化
- 多様な産業分野の企業誘致の促進
- 広域連携事業の推進

# 1. 本日の会議開催目的について

# 人口ビジョン実現のための総合戦略策定、そして、進行管理へ

## 人口ビジョン・総合戦略からモニタリングに係る全体像



# 「PDCAサイクル」による進行管理

総合戦略の実効性を高めるために



<b>【Plan】</b> 総合戦略の策定
効果的な戦略の策定 (指標の設定と責任対象の明確化)
<b>【Do】</b> 施策実行
施策の共有と実行
<b>【Check】</b> 指標による評価
評価指標に基づく客観的な評価 効果検証
<b>【Action】</b> 改善の実施
検証結果を踏まえた施策や評価指標の見直し 総合戦略の改訂の検討

## 2. 平成27年度実施事業評価について

# 基本目標 1 地元企業と学生との“つながり”を強化し、地元雇用拡大を実現

	H27年度 実施	コスト(千円)	有効性	効率性
<b>① 若者の市内就職の促進</b>				
就業支援事業(若者や女性の離職防止支援等) <b>先行型</b>	◎	40,218	高	高
市内企業の認知向上支援事業	◎	2,085	中	中
新卒高校生等雇用奨励金事業	◎	20,637	高	高
<b>② 学生と地元企業との交流・連携機会の創出</b>				
高校生・大学生等と市内企業とのマッチング支援				
苫小牧駒澤大、室蘭工大、苫小牧高専等の高等教育機関と連携した各種取組の展開				
キッズタウン開催事業	◎	4,783	高	高
就業支援事業(就職セミナー開催等) <b>先行型</b>	◎	1,133	高	高
<b>③ 苫小牧における起業促進</b>				
創業サポート事業(新規創業セミナーの開催等)	◎	3,676	高	高
ワンストップ相談窓口の設置	◎	0	高	高



## 基本目標2 子育てしながら仕事を続けられる社会環境の整備

	H27年度 実施	コスト(千円)	有効性	効率性
<b>④ ワーキングマザー＆ファザーの子育て応援</b>				
企業近隣における「保育ステーション」の設置に向けた検討				
「子ども送迎バス」の検討				
パパの子育て応援事業				
男女平等参画のための意識改革支援事業	◎	18,175	中	中
女性復職支援事業				
放課後児童クラブの充実	◎	292,530	高	高
<b>⑤ 子育て支援・保育サービスの充実</b>				
3人目の保育料等の無料化				
地域子育て支援事業(子育て支援拠点の設置等)	◎	38,969	高	中
ファミリー・サポート・センター事業				
子育て世代包括支援センター事業				
一時預かり事業	◎	22,193	高	中
<b>⑥ 苫小牧の地域資源を活かした体験学習の推進</b>				
豊かな自然環境や文化を活かした体験プログラムの充実	◎	—	高	高

### 基本目標3 地元の魅力を強化、暮らしやすさ発信で移住を促進

	H27年度 実施	コスト(千円)	有効性	効率性
<b>⑦ 苫小牧出身者への継続的な情報発信の拡充</b>				
旬のとまこまい情報の発信事業	◎	8,563	高	高
<b>⑧ 移住・定住者の受け入れ体制の充実</b>				
移住情報発信事業				
苫小牧市お試し移住体験の支援事業				
<b>⑨ とまこまいライフスタイルの確立</b>				
ヒーリングスポットとしての苫小牧の魅力造成事業				
ゆとりある苫小牧の過ごし方の提案事業				
地域コミュニティーポイント事業				
とまこまいフィルムコミッション事業	◎	1,619	高	高
<b>⑩ 縁結びコーディネート機能の設置</b>				
とまこまい縁結びサポート助成事業				
<b>⑪ 郷土の魅力を伝える活動の推進</b>				
「地域学」「地域コミュニティとのかかわり」を通じた「とまごころ」の醸成	◎	—	中	中
市民による地域魅力の深掘り、着地型観光ツアーの開発				
「知られざる苫小牧」の情報発信				
市内企業PR事業	◎	(再掲)	中	中
ご当地スポーツ(アイスホッケー等)の推進事業	◎	7,168	高	中

## 基本目標4 産業競争力を高め、地域ブランド力を向上

	H27年度 実施	コスト(千円)	有効性	効率性
<b>⑫ 立地企業への支援強化</b>				
立地企業のニーズ把握とフォローアップ	◎	(再掲)	中	中
立地企業サポート事業(先行型事業) <b>先行型</b>	◎	<b>56,309</b>	<b>高</b>	<b>高</b>
<b>⑬ 多様な産業分野の企業誘致の促進</b>				
進出企業のニーズを踏まえた提案型企業誘致活動の展開				
新千歳空港の機能充実と国内・国際航空輸送ネットワークの拠点形成	◎	27,743	高	中
国際コンテナターミナル等の機能強化とポートセールスの推進	◎	1,104,947	高	高
進出希望企業インセンティブツアー事業				
新たな事業所や機能等を市内に設けた企業への助成制度の整備事業				
<b>⑭ 広域連携事業の推進</b>				
広域観光推進組織(DMO)の設立支援事業 <b>先行型</b>	◎	<b>50,527</b>	高	中
受入体制の整備事業(広域観光ルート検討や受入プログラムの検討等) <b>先行型</b>	◎		高	中

### 3. 苫小牧市イノベーション基盤構築事業について

# 苫小牧イノベーション基盤構築事業

国の地方創生加速化交付金活用事業 総事業費 30,000千円

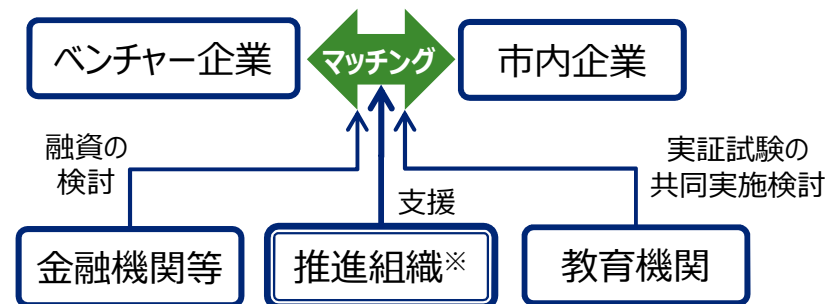
## 事業概要

- ✓ 移住・定住に係る本市の課題を抽出し、課題テーマ毎の解決に向けたイノベーション技術提案のマッチングイベントを開催する。実現性の高い技術について、実証試験等を実施し課題解決を図り、移住・定住の促進を目指す。

## 事業内容


### ① 移住・定住に係る課題抽出と課題解決に向けたイベントの開催

- ✓ 移住・定住、雇用に係る課題の抽出
  - ✓ 課題テーマ毎にマッチングイベントを開催し、実現性の高いイノベーション技術を絞り込む。
  - ✓ インセンティブツアーを同時開催し、市内の企業立地をPR
- ※ 推進組織とは、産・学・官・金などから構成される本事業の推進協議体であり、事務局機能を民間会社が担う。




### ② 移住・定住に係る課題解決に向けた実証実験・インターン

- ✓ マッチングイベントで評価の高い技術の実証実験やインターンを支援し、労働負荷や労働環境の改善、新規事業・プロジェクトの立ち上げによる雇用促進、さらには移住・定住の促進を目指す。
- ✓ 実証実験やインターンの実施時に、お試し居住などで、本市の住環境をPR

 教育機関  
(学生・若年層)


- 実証実験・インターンへの参加
- モニター参加者としての意見提出



 市内企業

- 課題の共有
- 実証実験・インターンの「場」及び「人材」の提供
- 新規事業や雇用の検討



 ベンチャー企業等

- 課題解決に資するソリューション・アイデアの提供
- 実証実験・インターンの実施